



君にも動かせる 小型ヨット

白い帆(ほ)に、風をいっぱいはらんで、真っ青な海をどこまでもどこまでもすすんでいく。こんな夢(ゆめ)をいだいたことのある人は、多いのではないだろうか。



写真：ブルーシー・アンド・グリーンランド財団 → <http://www.bgf.or.jp/>

ヨットのなかには、1人で動かすことのできるデインギーから、大人が何人ものって動かす外洋クルーザーまでたくさんのクラスがある。大型クルーザーなどは、練習をつんだ大人でないと動かすのはむずかしいが、小型ヨットのひとつ、オブティミストデインギークラスだとちょっと教われれば、小学生でも操縦(そうじゅう)することができ、ヨットのすばらしさを十分楽しむことができる。機会をみつけて海へのり出そう。

ヨットの各部分の名前

- ① ステム (ふねのいちばんまえ)
- ② バウ (ふねのまえのほう)
- ③ センターボード (ふねのよこながれをふせぐいた)
- ③ センターボード・ケース (センターボードが入る)
- ④ ミジップ (ふねのまんなかのあたり)
- ⑤ ガンネル又はデッキ・サイド
- ⑥ コクピット (人ののるところ)
- ⑦ マスト・ホール (マストをたてるところ)
- ⑧ シート (セイルをコントロールする綱)
- ⑨ ティラー (かじをうごかすぼう)
- ⑩ スターン (ふねのうしろのほう)
- ⑪ トランサム (ふねのうしろのかじのついているいた)
- ⑫ ラダー (かじ)

